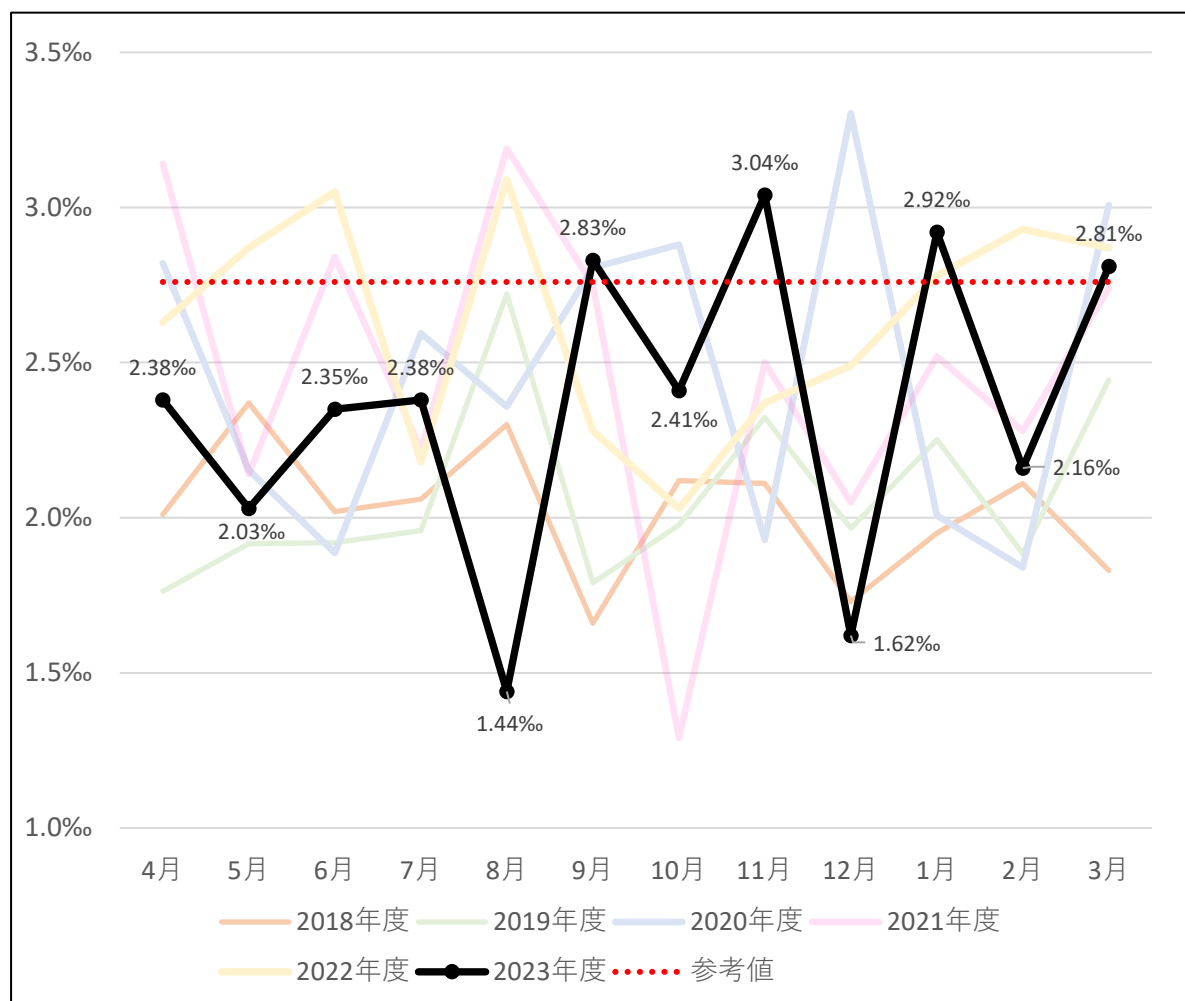


## 2.入院患者の転倒・転落発生率



分子	入院中の患者に発生した転倒転落件数
分母	入院延べ患者数
参考値	2.76%（千分率）（2022年度QIプロジェクト参加施設の平均値）
説明・考察	<p>[指標の意義]            入院中は身体的状況、薬剤による影響、生活環境の変化などにより転倒・転落のリスクが高まります。転倒・転落の発生は患者の転帰に悪影響を及ぼします。            転倒・転落発生率を継続的にモニタリングし、その傾向を把握することで転倒・転落予防に対する取り組みの効果が確認できます。</p> <p>[考察]            年間平均発生率は2.36%で参考値を下回っており、振り幅は大きいものの年間平均発生率は過去4年間で最も低い値です。            更なる低減に向けて転倒予防策を徹底させていく必要があります。</p>